

自分がつなぐもの

岐阜市立島中学校 3年
東濃 羽夏(ひがしのはな)

あなたは、人との「つながり」を感じていますか?「つながりは目に見えません。手をつないでいるわけでも、糸で結ばれているわけでもありません。でも、「つながり」は確かにあるものなのです。

学校の仲間、先生、家族、地域の人…。私たちは、それぞれたくさんの集団の中において、いろいろな人とつながっています。私たちは、いろいろな人との「つながり」に支えられて生きています。地域の輪、という言葉があります。これは、「地域の人とのつながり」といえますが、実感しづらいものではありませんか?あなたが住んでいる家の周り、地域を想像してみてください。家がたくさん建っています。しかし、そこにどんな人が住んでいるのか、自分とどのような関係があるのか、考えたことがある人は少ないはずです。私はひとつの出来事を通して、「地域の人とのつながり」を実感するようになりました。

そのきっかけは、地域対抗のソフトボール大会です。その大会に出場するのは、ほとんどの人が野球経験者の男性。同じ地域に住んでいたとしても、あまりしゃべったこともない人たちだし、年齢も性別もちがう人達の輪の中に入ることは少し抵抗がありました。また、他の人の足を引っ張ってしまうのではないかという不安な気持ちがありました。それでも「出る」と決意した大会当日。私は、年齢も性別もちがう人たちとひとつのチームになりました。

私は、たくさんの人の知らなかった一面を見ることができました。ガタイが良く強そうな人も、話してみたらすごく優しく、おじいさんの、今までだったら想像のつかなかったプレーを見られたりしました。今まで、たくさんすれ違ったりしているし、名前を知っている人も多いと思っていたけど、相手を知ろう、関わろうと行動したことで、本当に相手を知り、本当に「つながる」ことができたと思いました。

本物の「つながり」を実感したとき、私はあたたかい気持ちになりました。年齢も性別もちがう人たちと笑い合い、同じスポーツをして、楽しむ。これができるのは、自分も相手も互いを受け入れ、心からの「つながり」つくることができたからだと思います。

このように、「つながり」はあたたかいものであり、今までになかった新しい自分の世界を見せてくれます。その「つながり」のきっかけをつくるのは自分自身です。同じ地域に住んでいる、同じクラスの仲間…。それだけではただの共通点です。「つながり」をつくるには、自分自身の言葉や行動が必要です。

今思えば、私と一緒にいてくれる友達とのつながりは、私たちが互いにつくったきっかけによってできていると感じます。違うクラスだった友達は、ある日突然話しかけてくれました。それが本当にうれしくて、会うたびに少し話すようになりました。そして、学年が変わると、その子と同じクラスになり、さらに仲良くなることができました。「あの日、話しかけてくれた。」この小さな1つのきっかけが、互いの心を動かしたのです。

また、ある学年でのクラス替え。新しいクラスにとまどい、不安がつる一方でした。しかし、私は少しでも行動すれば、何か変わるかもしれないと思い、クラス全員に話しかけることを目標に日々を過ごしました。そのうちにだんだんと心を開き、このクラスが楽しいと感じるようになりました。

人とつながるきっかけは小さいものです。1つの会話、1つのあいさつ、1つのボランティア…。どんな小さなことでも、人と人をつなげ、世界を広げていくことができる…。とても素敵なことだと思いませんか?

あなたは人と人をつなぐようなあたたかい行動をしていますか?いろいろなことに対して心の壁をつくらず、相手を受け入れようとする気持ちをもつと、小さなひとつの行動ができる自分になれるでしょう。

きっかけはどこにあるかわかりません。もし、私の発表がきっかけとなって何かと何かをつなぐ一歩の勇気になったならば、私はとても幸せです。